

<霊的備え>

幸いなことよ その背きを赦され 罪をおおわれた人は。
幸いなことよ 主が答をお認めにならず、その霊に欺きがない人は。

(詩篇 32：1－2)

<理解の手引き>

神と共に歩み続けたノアも、酒に酔って自制心を失い、裸の恥をさらしてしまいました。このノアの醜態に、息子たちはそれぞれ異なる対応をしました。

カナン之父ハムは父の裸を見てしまいました。これは、ちらっと見たということではなく、じっと見たということです。おそらく、その時、みだらな思いを抱いた事でしょう。ハムは外にいた二人の兄弟にも告げたのです。彼は父の弱さや失敗に心を痛めるのではなく、むしろそれを言いふらしたのです。

これに対して、セムとヤフェテは、全く別の対応をしました。彼らは、着物を取って、後ろ向きに歩いて行って、父の裸を覆ったのでした。彼らは父を辱めようとせずに、愛をもって父の恥や弱さを覆ったのでした。

<考えてみよう>

(観察) ノアの醜態に対して、息子たちはそれぞれ、どのような対応をしましたか？

.....
.....
.....

(解釈) 何故、セムとヤフェテは、そのような対応をしたのですか？

.....
.....
.....

(適用) 私達は、人の失敗や罪に接した時、どのような対応をしたらよいのでしょうか？

.....
.....
.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....
.....
.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....
.....
.....